

平成 18 年度老人保健健康増進等事業報告書

認知症介護の質向上のための人材育成の
方策に関する研究事業

平成 19 年 3 月

社会福祉法人 浴 風 会
認知症介護研究・研修東京センター

はじめに

介護保険が改正され、認知症高齢者の自立支援ならびに尊厳の保持がさらに重視されるケアが求められる時代になった。介護保険施設においても、生活支援の視点はさらに重要なものとなっている。

その中で、特に認知症高齢者の生活の質向上にはケアスタッフの質向上が不可欠である。さらに、高齢者への生活支援の視点に立ったケアを展開するためには、スタッフ個々の働きだけではなく、チームアプローチの視点から、ケアチームが効果的にケアを実践し展開していくことが重要になるといえる。

以上のように、介護保険事業所の認知症ケアの質向上のためには、ケアスタッフの質向上が不可欠である。そのためには、人材育成の視点から、ケアスタッフの生活支援能力向上とチームアプローチの質向上が求められる。

そこで、本事業は、認知症ケアの質向上のための人材育成に資する取り組みを行い、その成果を広めることにより、介護保険事業所の質向上に寄与することを目的としている。

上記の目的のもとに、本年度の事業は、大きく二つの取り組みを実施した。

- (1) 認知症ケアを実施していくうえで、生活支援の視点に立つと、ケア場面においても、ソーシャルワーク能力が必要となる。そこで、第一の取り組みは、ケアスタッフに求められる認知症ケアのためのソーシャルワーク能力の内容と技術を明らかにするための調査研究事業を実施した。
- (2) 介護理念を土台とし、介護理念を介護現場で具体的に展開できる介護目標として具現化していくことをチームアプローチとして取り組み、それを通してケアの質向上を図るための実践事業を実施した。さらに、組織的に人材育成に取り組んでいる介護保険事業所を調査し実践事例として提示することを目的とした調査を実施した。

本事業は、平成18年度老人保健健康増進等事業の助成を受け実施された。本事業の成果が、今後の認知症ケアの質向上に寄与する資料として活用されれば幸いである。

目次

はじめに

I 認知症介護にかかわるスタッフが行うソーシャルワーク的支援に関する研究	1
1. 研究の背景	4
2. 先行研究と研究の目的	7
3. 研究の方法	11
4. 研究結果	12
5. 考察	36
資料	47
II 環境改善を目的とした職場内研修による認知症ケアの質の向上取り組み事業	55
1. 目的と事業経過	58
2. 職場内研修の実践的取り組み	60
3. ヒアリング調査：職場内研修に取り組む事業所の事例研究	85
4. まとめ	107
委員名簿	112